

活動の幅を広げたいと思っている演奏家のみなさん、その気持ちを実現してみませんか？

iichiko 総合文化センターではさまざまなアウトリーチプログラムを実施し、地域の皆さんのもとへ芸術の持つ楽しみや喜びをお届けしています。その一環である「おでかけクラシックコンサート」は、日頃からクラシック音楽に触れる機会が少ない遠方の学校などに演奏家を派遣し、子どもたちや地域の方々に生きた本物の音楽を届けることを目的としており、この企画に演奏家として登録する大分県ゆかりのアーティストをオーディションによって募集します。現在プロ、セミプロとして活動している方はもちろん、将来はアーティストとして活躍したいと考えている若い演奏家からの応募も大歓迎です。研修では、アウトリーチに精通したプロの講師を迎えます。経験がある方も初心に返り、主催者・事務局側の要求に柔軟に対応しながら取り組んでいただきたいと思います。今回が 4 期目の募集で、すでに 3 期 9 グループを選考しており、県内各地の小中学校・公民館等で演奏活動をしています。

○ 募集対象 [部門] ① 声楽 ② ピアノ ③ 弦楽器 ④ 管楽器 ⑤ 打楽器
⑥ アンサンブル <①～⑤のジャンルで活動歴のある 5 人程度の小編成のグループ>

[年齢] 2021 年 4 月 1 日現在で満 20 歳以上であること ※上限なし

○ 出演者に求めるスキル・登録条件

① 質の高い演奏

このプログラムは、演奏家による本物のクラシック音楽の素晴らしさを伝えることにより、将来のクラシックファンを増やすことがひとつの目的です。そのため、質の高い音楽を提供できる演奏家を求めています。

② モチベーション

派遣先は主に学校や福祉施設などの現場です。アウトリーチ活動に興味があることはもちろん、事業の趣旨を深く理解し熱意を持って取り組む意欲を評価します。演奏家の専門的な知識を活かした、プロならではの独自の企画提案も課題のひとつとします。

③ コミュニケーション力

派遣先の観客は生のクラシック音楽に初めて触れる人がほとんどです。そんな人々にファンになってもらうには、本来は難しいクラシックをいかにわかりやすく伝えるか、いかに興味を持ってもらうかがカギとなり、そのためのコミュニケーション力が必要です。

④ 挑戦

出張コンサートやリサイタルの経験がある演奏家にも、専門スタッフが新たな視点から構成やプログラムに対するアドバイスを行います。さまざまな客層に対して、演奏家としての新たな可能性に挑戦できる柔軟性とチャレンジ精神を持っている方を求めています。

⑤ 大分県にゆかりがある

現在大分県内に在住の人。過去に大分県内に在住経験のある人。他県在住で現在大分県内で音楽活動を行っている人。今後大分県内で音楽活動を行う予定の人。

※グループ（アンサンブル）登録する場合は、構成メンバー内に大分県にゆかりがある方が最低 1 名はいること。

⑥ 研修参加

オーディション後の研修に全日参加できる人。アンサンブルの方は全員参加が条件となります。

[研修内容（テーマ）] □アウトリーチとは何か □プログラム制作（1 次試験の書類をもとに） □模擬アウトリーチ体験 □ランスルー＝計画したプログラムを実際に通して行うこと。研修で学んだことを活かしてプログラムを作成し、実際に演奏込みでやってみます。

○ 契約期間 2021 年 9 月 1 日～2023 年 3 月 31 日まで ※開催日時は受入側の希望日時をもとに、演奏家と調整して決定します。

○ 演奏会場 県内小中学校、公立文化施設、病院や福祉施設、その他県内の依頼があった施設・機関など

○ 業務内容 ① 出張コンサート ② アウトリーチの広報協力（iichiko 総合文化センターなどへの写真やコメントの提供）
③ 財団主催事業の広報協力 ④ コンサート報告書提出

○ 謝金 ・ 1 公演につき 1 人あたり 2 万円（源泉徴収税別）。月毎に振込にて対応します。
・ 交通費は、財団の旅費規程に基づいて別途お支払いします（ただし上限 2 万円まで）。
※伴奏者にも同じ条件を適用します。 ※オーディション、研修は自己負担となります。

○ その他 [移動] コンサート当日は基本的に現地集合・解散となります。会場によっては相談可能です。
[評価制度] 開催地の主催者と事務局にて評価制度を取り入れ、活動優秀な方については、次年度も優先的に活動をお願いする場合があります。なお評価が低い場合には、任期の途中で契約を解除します。

募集要項

応募資格 左ページに記載した条件にあてはまる方

応募方法

下記の提出物を申込先まで持参するかご郵送ください。提出物は返却しません。

- ① 応募用紙 このチラシの裏面をコピーしてご記入ください。
応募用紙はホームページからもダウンロードできます。 [iichiko 総合文化センター](#) [検索](#)
- ② 写真 サイズ指定はありません。データでも受取可能です。
アンサンブルの場合は全員で写ったものとメンバー 1 人ずつの個人写真をご用意ください。
- ③ デモプログラム 下記のなかから 1 つテーマを選び、実際のアウトリーチを想定した企画を考え、内容を A4 用紙 1 枚に自由にまとめてください。
テーマ A: 小学校向け / 全校生徒 50 名、音楽室にて 45 分のプログラム
B: 小学校向け / 5 年生 30 名、音楽室にて午後の時間帯に 45 分のプログラム
C: 中学校向け / 2 年生 30 名、音楽室にて 60 分のプログラム
D: 公民館にて / 一般の方 50 名、公民館のホールにて 60 分のプログラム
E: 高齢者施設にて / 施設をご利用の方 50 名、施設にて 60 分のプログラム

申込

お問い合わせ先

〒870-0029 大分市高砂町 2-33

（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団 企画普及課「おでかけクラシックコンサート」宛
TEL 097-533-4004

応募締切

2021 年 5 月 31 日（月）17:00 必着




選考方法

■選考（書類・実技）
応募締切後、日時等の詳細を連絡します。提出していただいたデモプログラムから抜粋して実演していただきます（抜粋部分は当日指定）。また、自分または自分たちの音楽性を聴かせられる曲（5 分程度）を用意してください。審査の時間は合計 30 分程度です。結果は、応募者本人（アンサンブルでお申し込みいただいた方は代表の方）に通知します。

■審査員（予定）
児玉 真（一般財団法人地域創造 プロデューサー）
海野 幹雄（チェロ奏者、一般財団法人地域創造 公共ホール音楽活性化支援事業アーティスト）
廣瀬 祐宏（iichiko 総合文化センター 館長）
広沢 稔（iichiko 総合文化センター 副館長）

選定

決定後の流れ

- ① 選考： 6 月 7 日（月）
予備日： 6 月 8 日（火）
 - ② 1 次研修 8 月 4 日（水）・5 日（木）

プロの講師をお招きしてアウトリーチの基礎を学ぶ
 - ③ 2 次研修 [ランスルー] 8 月 25 日（水）・26 日（木）

自分たちのプログラムを制作し、実演
 - ④ アウトリーチ開始 9 月

研修終了後、いよいよ派遣先でアウトリーチ開始
- 場所：
iichiko 総合文化センター
iichiko Space Be リハーサル室
ほか

研修参加者の声

■ アウトリーチの成り立ちについて詳しく学んだ事はこれまでなかったため、貴重な機会になった ■ それぞれの派遣先で何を求められているのか十分に把握し、最善のアウトリーチを行っていきたく ■ プログラムを徹底して分析・構成していくことの大切さを学んだ ■ 研修を受ける前は、クラシックなんて聴かされてもおもしろくないだろうと決めつけていた。「クラシックを土台にどのように構成するか」「聴き手に興味を持たせることができるのか」を考えれば伝わるプログラムができると学んだ ■ 知らない曲をどういう風知ってもらおうのか工夫することが大事だとわかった ■ いかに面白くクラシックを聴いてもらえるのか、今まで考えたことがなかった。挑戦し続けようと思う



応募用紙

アンサンブル部門に応募の方は、メンバー1人につき1枚の応募用紙が必要ですが(☆)の項目は代表者のみご記入ください。

部門 ※いずれかに○をつけてください。	
声楽 (声種:)	・ピアノ・弦楽器 ()
アンサンブル (編成)
フリガナ	
氏名	(アンサンブルグループ名:)
性別	生年月日 年 月 日 () 歳
現住所 〒	
大分県とのゆかりをご記入ください。	
自宅 TEL	FAX
携帯電話	E-mail
現在の職業・学校	
プロフィール ※別紙可。グループおよび個人の両方のプロフィールを提出してください。	
これまでに聴衆拡大や子どものための企画・コンサートを行った経験がある方は活動履歴をお書きください。(☆) アンサンブルの場合はグループでの活動履歴をお書きください。	
応募の動機・目標をお書きください。(☆)	
主なレパートリー	